

議事要旨(1) 実務対応報告公開草案「電子記録債権に係る会計処理及び表示についての実務上の取扱い(案)」について

逆瀬副委員長より、先般、基準諮問会議から提言を踏まえテーマアップした標記の会計処理等について、金融商品専門委員会での議論がほぼ収束したことから、本日開催の委員会において公開草案の最終公表の議決をお願いしたい旨の説明があった。引き続き、小田専門研究員より、文案の修正内容及び今後の日程として4月頃に最終公表を行いたいと考えている旨の説明がなされた後、次のような質疑応答が行われた。

- ・ある委員より、本文において「重要性があるときには、電子記録債権を示す科目に振り替える」とされており、重要性がない場合には振替が不要とも読めるが、脚注において、重要性が乏しいときにも振替を要する処理が言及されているため、混乱するのではないかとの指摘があった。これに対して事務局からは、分かりやすさの観点から、会計処理に関する重要性の表現を削除するなど、表現を工夫する旨の説明があった。
- ・その他、何人かの委員より、「表示」と「処理」という表現の使い方が一部整合していない部分があるのではないかと、脚注の番号の付け方が不自然ではないかと、設例の前提条件の説明が不十分ではないか等の指摘があり、これらに対して事務局からは、適切に字句等の修正を行う旨の説明があった。

審議の後、採決が行われ、字句等の修正については委員長(今回は逆瀬副委員長が代行)に一任する前提で、出席者12名全員の賛成により、本実務対応報告公開草案の公表が承認された。

以上